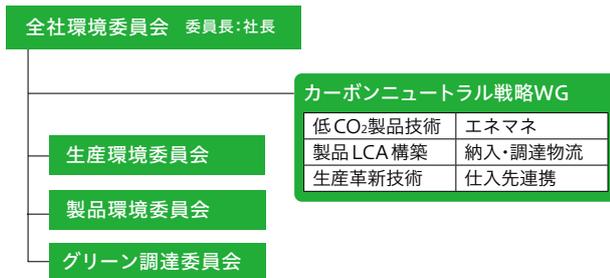


環境経営

東海理化グループでは、環境保全を経営の重要課題と位置付け、環境委員会組織により継続的な活動を展開しています。

[環境委員会組織]



ビジネスパートナーとの連携

東海理化および海外拠点各社では、グリーン調達ガイドラインを定め、環境保全に対する考え方を理解していただくとともに、グローバルで環境マネジメントの強化を進めています。仕入先さまで組織する協力会の会員会社に対して、巡回点検によるヒアリングや改善支援などを実施しており、双方のレベルアップにつなげています。

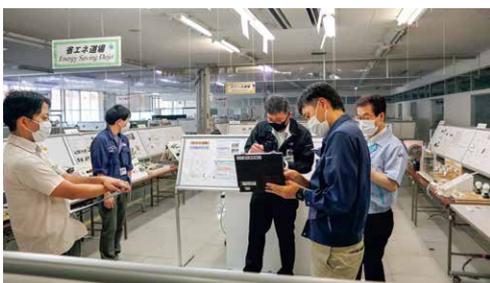


グリーン調達ガイドライン

主な記載項目

1. 環境マネジメントシステムの構築
2. 当社に納入する部品・材料の管理
3. 物流に関わるCO₂排出量、梱包・包装材の低減
4. 取引先さまの事業活動に関わる環境の取り組み

社内の省エネキーマン育成の場である「省エネ道場」を仕入先さまにも開放し、省エネのノウハウを伝授しています。サプライチェーン全体でカーボンニュートラル達成に向けて、連携を進めていきます。



仕入先さま受け入れ教育

環境マネジメントシステムの構築・運用

ISO14001の取得状況

各拠点が、継続的に環境パフォーマンスを向上していくため、環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、外部認証を取得しています。東海理化および全ての海外生産拠点では、ISO14001の認証を取得しており、国内グループ会社では、ISO14001の他、エコアクション21の認証を取得しています。

環境リスクの低減

生産設備や構内作業における環境リスクを評価し、想定される緊急事態に対して、定期的に訓練を行い、資材や対応手順が有効に機能することを確認しています。

2022年度は、環境異常・苦情の発生はありませんでした。



緊急事態対応訓練

GXリーグ基本構想への賛同

2022年11月、「GXリーグ基本構想」への賛同を表明しました。GXに積極的に取り組む企業などと協力、議論を重ねるとともに、当社の環境目標である「カーボンニュートラル戦略2030」に向け取り組みを推進していきます。



環境情報の開示

CDPによる気候変動質問書、および水セキュリティ質問書への回答を通じて環境情報を開示しています。また、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言への賛同も表明しています。環境に関する詳細データは、別冊のサステナビリティデータブック、および当社ウェブサイトで公開しており、カーボンニュートラルに向けた施策とともに関連情報の開示を進めていきます。

